



みどりの子

4月号

24. 4. 9

学校教育目標

ふるさとを愛し、進んで学ぶ子
かしこく なかよく たくましく

所沢市立荒幡小学校

新しい学校教育目標

校長 橋本 徳邦

また、荒幡小に春が来ました。
校庭の桜が例年よりは少し遅めですが、今年も美しく咲いています。
この時期は、荒幡小に勤務できる幸せを改めて感じます。
さて、幸いにも、3年目の春を荒幡小で迎えさせていただくことになりました。
よろしく願いいたします。

今年度、学校教育目標を改訂しました。

「ふるさとを愛し、進んで学ぶ子 かしこく なかよく たくましく」です。

「ふるさとを愛し」とは、「荒幡」「松が丘」の自然や人々を愛する気持ちを育てたいということです。そして、「学ぶ」には、友だちや保護者、地域の皆様、教員等とのふれあいの中で人間として全面的に成長していてほしいということです。子どもたちの「学び」はいわゆる「勉強」だけではありません。多くの方々や自然体験、社会体験の中で人間として成長していきます。

「かしこく」「なかよく」「たくましく」には、荒幡小の子どもたちが学び続けていく姿をイメージしたものです。三つの言葉の最初の一字をつなげると「かなた」となります。子どもたちには「かなた」「未来」「果てしなき地平」を目指して一生懸命に生きてほしいと思います。

子どもたちが主体的な学びを展開できる荒幡小にしていけるように全教職員で力を合わせてがんばっていきたくと思いますので、よろしく願いします。